歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

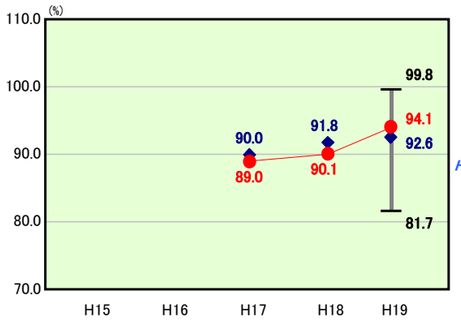
兵庫県 西脇市

経常収支比率の分析

当該団体値
類似団体内平均値
類似団体内最大値
類似団体内最小値

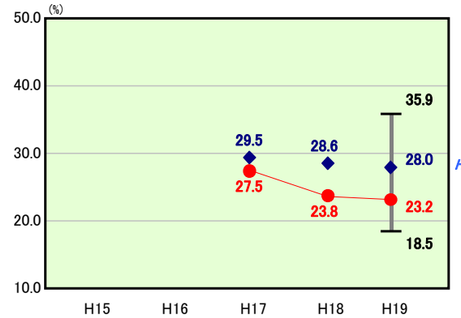
人　　口	44,464 人(H20.3.31現在)
面　　積	132.47 k㎡
歳入総額	17,977,726 千円
歳出総額	17,705,212 千円
実質収支	228,777 千円

経常収支比率(合計)



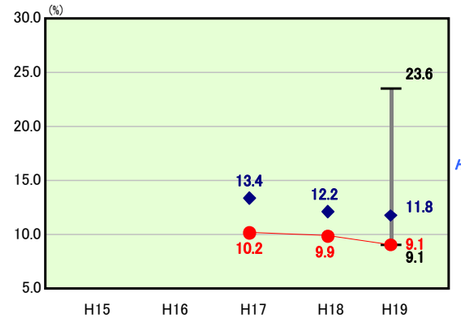
H19類似団体内順位
11/18
全国市町村平均
92.0
兵庫県市町村平均
95.3

人件費



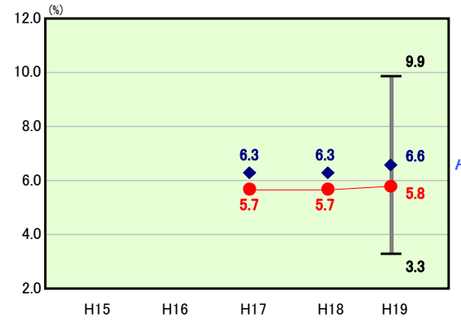
H19類似団体内順位
4/18
全国市町村平均
28.0
兵庫県市町村平均
29.8

物件費

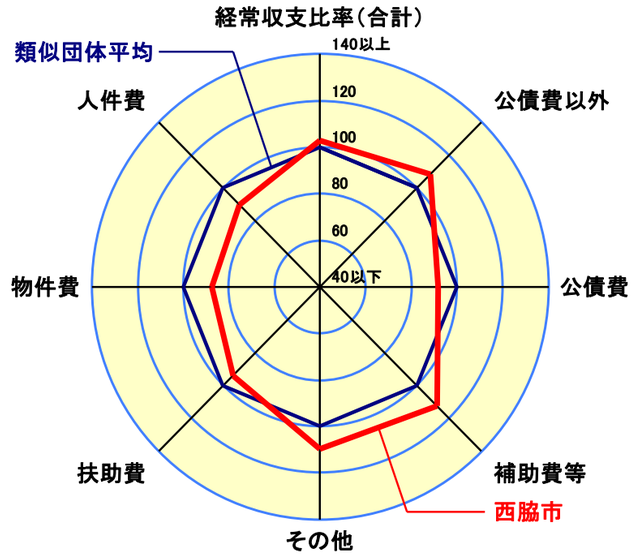


H19類似団体内順位
1/18
全国市町村平均
13.1
兵庫県市町村平均
11.4

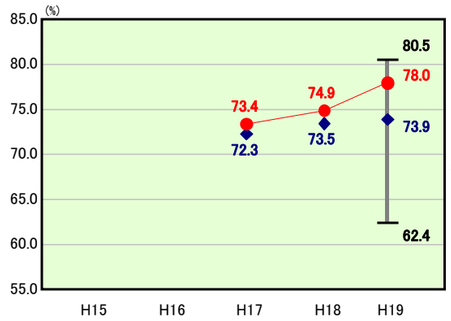
扶助費



H19類似団体内順位
8/18
全国市町村平均
8.8
兵庫県市町村平均
9.2

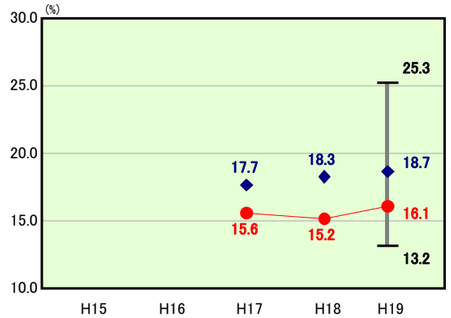


公債費以外



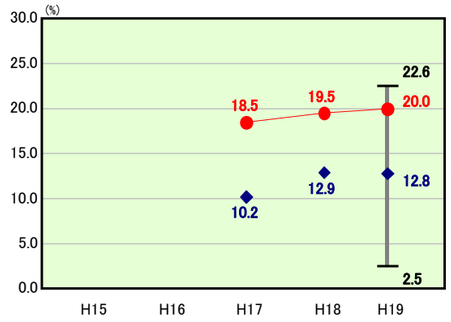
H19類似団体内順位
16/18
全国市町村平均
71.7
兵庫県市町村平均
70.6

公債費



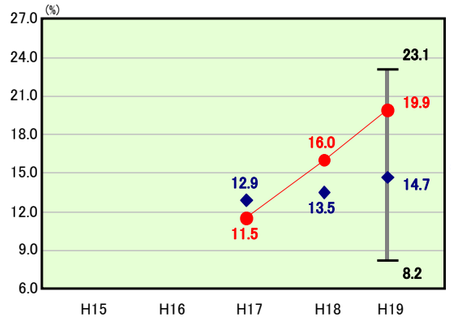
H19類似団体内順位
3/18
全国市町村平均
20.3
兵庫県市町村平均
24.7

補助費等



H19類似団体内順位
17/18
全国市町村平均
10.4
兵庫県市町村平均
8.6

その他



H19類似団体内順位
15/18
全国市町村平均
11.4
兵庫県市町村平均
11.6

※1　本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。（偏差値は平均を100としている。）
2　当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
3　類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

注:各項目の経年推移(折れ線グラフ)については、合併以降(H17～)のみを表示している。

●人件費

人件費及び人件費に準ずる費用(臨時職員賃金や一部事務組合負担金)とも類似団体平均を下回っている。平成17年度合併以降の大量退職者の不補充が大きな要因となっている。今後も定員適正化計画を着実に実施し、人件費の削減に取り組む。

●公債費

一般会計の公債費については、類似団体と比較して低い水準にあるが、公営企業債の償還財源や一部事務組合等の償還財源に相当する準元利償還金を含めると高い水準となっている。実質公債費比率は14．9%と前年度と比較して2．6ポイント下がっているが、全国市町村平均と比較して、なお、高い水準にある。これらを踏まえ、中長期の財政収支見通しのもと、適切な事業実施に努めていく。

●補助費等

補助費等が類似団体平均を大きく上回っているのは、ごみ処理や消防業務等を事務組合で行っていることや病院事業に対する一般会計からの負担金が大きな要因となっている。各種団体に対する補助金も類似団体より多額となっているため、補助金の見直し、廃止について検討していく。

●その他(繰出金)

類似団体と比較して、高い水準となっており、下水道事業に対する繰出金等のウエイトが大きいことが要因である。これは、下水道事業債の元利償還金の増加によるものであり、平成24年度をピークに減少していく見込みである。その他の会計についても経常経費の削減により、繰出金を抑制していく。